

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【公開番号】特開2016-187424(P2016-187424A)  
 【公開日】平成28年11月4日 (2016.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-062  
 【出願番号】特願2015-68594(P2015-68594)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月25日 (2016.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を制御する遊技制御手段によって生成された情報を、外部端子板を介して外部信号として出力する遊技台であって、

前記外部信号を生成し、生成した前記外部信号を前記外部端子板に出力する外部信号生成手段を備え、

前記遊技制御手段は、前記情報を、前記外部信号生成手段に出力する手段であり、

前記情報は、遊技に関する遊技情報と、エラーに関するエラー情報と、がある情報であり、

前記エラー情報は、エラー発生に関するエラー発生情報と、エラー非発生に関するエラー非発生情報と、がある情報であり、

前記外部信号生成手段は、前記遊技情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記遊技情報に対応するパルス信号を出力する手段であり、

前記外部信号生成手段は、前記エラー発生情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記エラー非発生情報に関する前記外部信号である通常レベルの信号とは異なるエラーレベルの信号を出力する手段であり、

前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号を出力している際に前記通常レベルの信号を出力することとなった場合、前記エラーレベルの信号を出力する時間が最低出力時間以上の時間となっていれば、前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力し、前記エラーレベルの信号を出力する時間が前記最低出力時間以上の時間となっていなければ、前記最低出力時間が経過した後に前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力する、  
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技台であって、

前記遊技情報は、メダル投入数データを含む情報であり、

前記外部信号生成手段は、前記メダル投入数データに関する前記外部信号を出力する場合、前記メダル投入数データに対応する数のパルス信号を出力する手段である、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技台であって、

前記遊技情報は、メダル払出数データを含む情報であり、

前記外部信号生成手段は、前記メダル払出数データに関する前記外部信号を出力する場合、前記メダル払出数データに対応する数のパルス信号を出力する手段である、

ことを特徴とする遊技台。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る遊技台は、遊技を制御する遊技制御手段によって生成された情報を、外部端子板を介して外部信号として出力する遊技台であって、前記外部信号を生成し、生成した前記外部信号を前記外部端子板に出力する外部信号生成手段を備え、前記遊技制御手段は、前記情報を、前記外部信号生成手段に出力する手段であり、前記情報は、遊技に関する遊技情報と、エラーに関するエラー情報と、がある情報であり、前記エラー情報は、エラー発生に関するエラー発生情報と、エラー非発生に関するエラー非発生情報と、がある情報であり、前記外部信号生成手段は、前記遊技情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記遊技情報に対応するパルス信号を出力する手段であり、前記外部信号生成手段は、前記エラー発生情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記エラー非発生情報に関する前記外部信号である通常レベルの信号とは異なるエラーレベルの信号を出力する手段であり、前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号を出力している際に前記通常レベルの信号を出力することとなった場合、前記エラーレベルの信号を出力する時間が最低出力時間以上の時間となっていれば、前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力し、前記エラーレベルの信号を出力する時間が前記最低出力時間以上の時間となっていなければ、前記最低出力時間が経過した後に前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力する、ことを特徴とする遊技台である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0243

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0243】

このような構成とすれば、基本回路 302 から遊技データが連続して出力された場合であっても外部信号の出力を継続可能なため、外部信号の発生タイミングが重なっても外部信号を安定して出力することができる。また、基本回路 302 がチップセレクト信号を再送信する必要がないため、遊技制御を実行する制御手段の制御負担を、より一層、軽減することができる。遊技制御を円滑に実行することができる。

本例に係る遊技台（例えば、スロットマシン 100）は、遊技を制御する遊技制御手段（例えば、図 6 に示す基本回路 302）によって生成された情報を、外部端子板（例えば、図 3 に示す外部端子板 352）を介して外部信号として出力する遊技台であって、前記外部信号を生成し、生成した前記外部信号を前記外部端子板に出力する外部信号生成手段（例えば、図 8 に示す外部信号生成手段 700）を備え、前記遊技制御手段は、前記情報を、前記外部信号生成手段に出力する手段であり、前記情報は、遊技に関する遊技情報（例えば、図 11（a）に示すメダル投入データ、図 11（b）に示すメダル払出データ、BB 情報、RB 情報、RT 情報）と、エラーに関するエラー情報（例えば、セキュリティ情報）と、がある情報であり、前記エラー情報は、エラー発生に関するエラー発生情報（

例えば、エラーの発生中であることを示すセキュリティ信号（例えば、Ｌレベルの信号）と、エラー非発生に関するエラー非発生情報（例えば、エラーの解消を示すセキュリティ情報（例えば、Ｈレベルの信号））と、がある情報であり、前記外部信号生成手段は、前記遊技情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記遊技情報に対応するパルス信号（例えば、図２７（ａ）や同図（ｂ）に示す、メダル投入信号、メダル払出信号）を出力する手段であり、前記外部信号生成手段は、前記エラー発生情報に関する前記外部信号を出力する場合、前記エラー非発生情報に関する前記外部信号である通常レベルの信号とは異なるエラーレベルの信号を出力する手段であり、前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号を出力している際に前記通常レベルの信号を出力することとなった場合、前記エラーレベルの信号を出力する時間が最低出力時間（例えば、図３３において符号Ｅで示す時間（例えば、３０秒））以上の時間となっていれば、前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力し、前記エラーレベルの信号を出力する時間が前記最低出力時間以上の時間となっていなければ、前記最低出力時間が経過した後に前記外部信号生成手段が前記エラーレベルの信号に替えて前記通常レベルの信号を出力する、ことを特徴とする遊技台である。

本例に係る遊技台によれば、遊技店などに設置された外部装置は、遊技台におけるエラーの発生の有無に関する情報を確実に取得することが可能となる。

また、前記遊技情報は、メダル投入数データ（例えば、図１１（ａ）に示すメダル投入データ）を含む情報であり、前記外部信号生成手段は、前記メダル投入数データに関する前記外部信号を出力する場合、前記メダル投入数データに対応する数のパルス信号（例えば、図２７（ａ）に示すメダル投入信号）を出力する手段であってもよい。また、前記遊技情報は、メダル払出数データ（例えば、図１１（ｂ）に示すメダル払出データ）を含む情報であり、前記外部信号生成手段は、前記メダル払出数データに関する前記外部信号を出力する場合、前記メダル払出数データに対応する数のパルス信号（例えば、図２７（ｂ）に示すメダル払出信号）を出力する手段であってもよい。